



学校だより

平成28年1月7日 第11号

さいたま市立大宮東中学校

E-mail omyahigashi@saitama-city.ed.jp

「家族と年中行事」

校長 上 亟 啓 介

あけましておめでとうございます。

旧年中は、ひとかたならぬご支援、ご協力を賜りありがとうございました。本年も、教職員一同全力で取り組んでまいりますので、変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

さて、1月1日の朝は毎年、お屠蘇（とそ）とお雑煮をいただく前に仏壇の前に座り、父と兄に新年のあいさつと今年1年の「抱負とお願い」をしています。今年の抱負は「東中の子どもたちに自信をもたせたい」ということ、そしてお願いは「家族一同健康でありますように」でした。そういえば、毎年お願いの冒頭には、きまって「家族」という言葉があるなと思いました。初詣に出かける道すがら、改めて「家族」というものについて考えてみました。

「家族」という言葉に思いを巡らし、最初に思い浮かんだことは、その家ごとには習慣というか独自の行事があるなということでした。

それぞれ、どこの家庭にも一年の内いくつかは、家ごとの習慣や行事が必ずあるものです。

我が家でも、元旦の墓参りが「年中行事」のひとつとなっています。元々は東京で生活していましたので、お墓も京成電鉄の江戸川駅のそばにあります。まず墓参りをして、その後近所の「帝釈様」に初詣に出かけ、参道の天ぷら屋で天井を食べるということから我が家の1年がスタートします。そしてこの「行事」は、すでに60年近く続いているということで、何となく不思議な気持ちになります。父が他界するまでは3人で、その後は母と2人の時が数年続き、そしてそこに女房が加わり3人に、その後子どもが2人増えて5人になり、さらに倅が結婚し1人増え、現在は7人での行事になりました。子どもたちの様子を見てみると、たぶんこの「行事」はこれから先も続いていきそうだなと思っています。

今まで、59年間の人生を送ってきて、友だちにも助けられました、先生にも助けられました、同僚にも助けられましたが、助けられた内容の軽重はありましたが、やはり家族の存在というものは別格のものでした。子どもたちにとって、何よりも大切なものは家族であり、家庭です。その家庭を守り、よりよい環境を作っていくのは我々親の責任です。

新年にあたり、改めて家族について考えてみました。

これから先も新年のお願いの最初の言葉は、「家族一同」ということになるとと思います。

【教育評価アンケートのお礼】

年末には、お忙しいところ教育評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆さまからのアンケートの回収率は、86パーセントでした。皆さまの学校に寄せる関心の高さを改めて感じ、身の引き締まる思いです。

この後、いただきましたご回答から本校の課題を明らかにするとともに解決の手だてについて検討し、「学校関係者評価委員会」にてご意見をいただき、平成27年度の学校評価としたいと存じます。全体の結果につきましては、3月の学校だよりで報告させていただきます。

学校教育目標 **輝く命 生きる力**

目指す生徒像

○たがいに鍛え、競う生徒

○たがいに結び、励む生徒

○たがいに求め、学ぶ生徒

さいたま市冬季体育大会

女子ソフトテニス部

個人戦 1年生の部 第5位 秋山 涼乃・岩渕 萌生組
2年生の部 第3位 山本 花実・細井 美穂組
第9位 小澤 有実・土方 麻由組

女子卓球部 大宮東 3-0 田島 (予選リーグ)

【第3位】 3-0 春里 (予選リーグ)
3-0 土呂 (決勝トーナメント2回戦)
3-0 岩槻 (準々決勝)
2-3 大砂土 (準決勝)

男子卓球部 大宮東 3-0 城北 (予選リーグ)

3-1 川通 (予選リーグ)
3-0 東浦和 (予選リーグ)
1-3 指扇 (決勝トーナメント1回戦)

男子バスケットボール部 大宮東 35-62 桜木 (1回戦)



新人戦に引き続き、入賞です



埼玉県読書感想文コンクール

課題読書の部 入選 岩渕 萌生「夏の朝にありがとう」

自由読書の部 入選 南 和花「心で勝つ」

埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール

優秀賞「伝えたい 君への言葉 白い歯で」 村山 碧 (1年1組)

さいたま市「人権に関する標語」コンクール

優秀賞「差別して 手に入れたものは ありますか」 吉多 桃夏 (3年3組)

入選「無関心 いじめ荷担の 第一歩」 細谷 佳佑 (3年2組)

「あいさつを 笑顔でかわし 元気チャージ！」 関根 未侑 (2年2組)

「笑顔の種 言葉のシャワーで 育てよう」 駒崎 千尋 (2年4組)

「ぼくらには たよれる仲間が いつもいる」 鈴木 順雄 (1年1組)

「ありがとう 笑顔があふれる おまじない」 川村 柚希 (1年4組)

さいたま市「人権に関する作文」コンクール

優秀賞 「思いやりの気持ち」 森永 智喜 (3年2組)

入選 「いじめを消す第一歩」 上山 裕衣 (2年1組) 「勇気と協力」 宍戸 就一 (1年1組)

大宮東中学校「本の帯コンクール」優秀作品

木村 有希 (3年3組) 平野 晴菜 (3年3組) 和泉向日葵 (2年1組) 富井 杏 (2年2組)

長瀬 陽 (1年3組) 西田 早希 (1年3組)

「今年の抱負」加藤 由香 生徒会長 (2年1組)

私たち生徒会執行部の活動目標は「The 70th revolution」です。このスローガンの意味は、「70回目の革命」です。私たちはたくさんの改革を行った第69代生徒会に負けないくらい、東中をよくするための革命を起こせるようがんばりますので、応援よろしくをお願いします。

中部地区社会福祉協議会主催「会食サービス」女子バスケットボール部 12月12日(土)

森下 美風さん、佐々木 紫音さん (2年1組)、小峰 彩夏さん (2年2組)、金田 花梨さん、関口 華怜さん (2年3組)、伊藤 可好さん (2年4組) が参加しました。

関口 華怜「最初は緊張していましたが、だんだん慣れてきて最後のほうはすごく楽しかったです。あまりこういう経験をする事ができないので、この会食サービスで経験することができてよかったです。準備や片づけはやる事が多くてたいへんでしたが、よい体験をすることができました。」

さいたま市青少年の主張大会 優秀賞 冨塚 由梨佳（3年3組）

自分自身の体験と地域での取組を踏まえて発表しました。私の住んでいるマンションで一人暮らしの高齢者の方が倒れてしまい、見つかるまで時間がかかってしまいました。幸い、命はとりとめたものの回復は十分でないようです。私は、この地域から高齢者の孤独死が起きないように、地域で行われるイベントなどで若い世代と高齢者が交流してお互いに関心をもてるようにしていければ、と考えています。青少年の主張大会会場は、満員でしたがあまり緊張もせず練習通りにできました。

さいたま市理科教育研究発表会 優良賞 駒崎 燈（2年3組）

私は夏休みの宿題で「金属と酸化還元」について、研究をしました。理科の授業で勉強したことが研究のきっかけとなりました。金属5種類、液体6種類を用い、どの金属が酸化しやすいのかを4日間観察しました。対照実験なので、実験の条件を統一させることが大変でした。実験結果をパワーポイントを使って写真を取り込んでわかりやすい発表資料としました。自分としてもいい発表ができたと思います。他校の発表も聞けて面白かったし、勉強にもなりました。

さいたま市冬季体育大会 女子ソフトテニス部上位入賞者

個人戦2年生の部 第3位 山本 花実・細井 美穂「秋の市新人大会でも強いチームと当たりました。私たちより強いチームは技術ばかりではなく、メンタル面も強かったです。市団体戦で負けた時、先生に『負ける顔をしている』と言われました。今回は、強い学校にも弱気にならず、強気と笑顔で向かっていきました。16決めの試合では、2ゲームを先に取りられてしまい、あと1ゲーム取られたら負けというところまで追いつめられましたが、そこから3ゲーム連取して逆転勝ちすることができました。この成績により、さいたま市選抜のメンバーに入り、県大会に出場することができます。応援してくれる仲間のためにも全力を尽くし、いい結果を残せるようにしたいです。」

個人戦1年生の部 第5位 秋山 涼乃・岩渕 萌生「みんなの応援があったおかげで、このようないい成績が残せました。試合にはポジティブな気持ちで臨めたため、とても楽しくできました。練習よりもいいテニスできました。さいたま市選抜にも入ることができました。市の代表として出場する県大会では、いい結果を残したいと思っています。他の学校の選手とも同じチームになるので、仲間意識をもつとともにいいところは学んできたいと思います。」

「給食試食会」の感想（11月25日実施）保護者39名参加

「お話を聞いて、毎日子どもたちのために丁寧に心を込めて作っていただいているんだなあと感謝しました。食べてみて、具も多く入っていて野菜など素材一つ一つに素揚げするなど手間ひまかけて作っていただいていたびっくりしました。」

「いつも手間のかかったメニューをありがとうございます。献立表を見るのが楽しみです。最近は、苦手な食材も給食なら食べられるようになったと話しています。」

「いつも給食ありがとうございます。私の子もおいしくいただいています。私が中学生のころ、東中はセンター給食となり、冷えた弁当になりました。実に残念でした。今、こうして温かい給食をいただけることは本当にうれしいことだと思います。」